



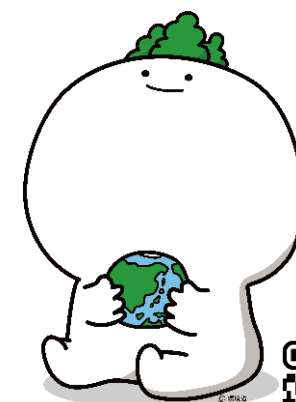
環境省

# 情報開示ワークショップ

自然関連財務情報開示のためのワークショップ《アドバンス編》

第3回 情報開示に向けた準備

2023年1月15日



ご利用はコチラ→



## 参考 LEAPアプローチの16の質問項目とは

- |                     |     |
|---------------------|-----|
| 1. 情報開示ワークショップの内容説明 | 5分  |
| 2. 企業間のディスカッション     | 55分 |
| 休憩                  | 15分 |
| 3. 発表・意見交換          | 45分 |

参考 LEAPアプローチの16の質問項目とは

# TNFDが推奨するLEAPアプローチとは

- LEAPアプローチは、**自然との接点、自然との依存関係、インパクト、リスク、機会など、自然関連課題の評価のための統合的なアプローチ**として、TNFDにより開発されました。
- LEAPアプローチでは、スコーピングを経て、Locate（発見する）、Evaluate（診断する）、Assess（評価する）、Prepare（準備する）のステップを踏み、TNFD情報開示に向けた準備を行います。
- LEAPアプローチは、TNFDが推奨するステップであり、**実施は必須とされていませんが、パイロットテストの結果からも有効とされています。**

Scoping  
(スコーピング)

Locate  
(発見する)

Evaluate  
(診断する)

Assess  
(評価する)

Prepare  
(準備する)

参考 LEAPアプローチの16の質問項目とは

# LEAPアプローチのステップと質問項目

スコーピング			
作業の仮説を立てる			
目標とリソースの調整			
発見する(Locate)	診断する(Evaluate)	評価する(Assess)	準備する(Prepare)
L1 ビジネスモデルとバリューチェーンのSPAN	E1 環境資産、生態系サービスとインパクト要因の特定	A1 リスクと機会の特定	P1 戦略とリソースの配分戦略
L2 依存関係とインパクトのスクリーニング	E2 依存関係とインパクトの特定	A2 既存のリスク軽減との適合とリスクと機会の管理	P2 ターゲット設定およびパフォーマンス管理
L3 自然とのインターフェース	E3 依存関係とインパクトの測定	A3 リスクと機会の測定と優先順位付け	P3 報告
L4 要注意地域とのインターフェース	E4 インパクトのマテリアリティ評価	A4 リスクと機会のマテリアリティ評価	P4 公表

## LEAPを実施する上でサポートとなるTNFDの開示提言

戦略D	戦略A 戦略D リスクとインパクトの管理A (iおよびii) リスクとインパクトの管理B 測定指標とターゲットB	戦略A 戦略C 戦略D リスクとインパクトの管理A (iおよびii) リスクとインパクトの管理B リスクとインパクトの管理C 測定指標とターゲットA 測定指標とターゲットB	ガバナンスA ガバナンスB ガバナンスC 戦略B 戦略C 測定指標とターゲットC
-----	--	---	---

図 LEAPアプローチ全体図

出所: [Recommendations of the Taskforce on Nature-related Financial Disclosures September 2023.pdf \(tnfd.global\)](#) を基にEY作成

# 1

情報開示ワークショップの内容説明

## 事前にご用意して頂いた課題について

LEAPアプローチの16個の質問項目が記載された様式に、過去参加回（ベーシック編・アドバンス編）や既存の情報を用いて、どのように分析・評価を行い、何が課題であると感じるかについて記入いただきました。

LEAP	LEAPの質問項目	どのように分析・評価を行い対応するか	どのような課題があると感じるか
発見する(Locate)	L1 セクター別およびバリューチェーン別の自社組織の活動は何か。直接的操業している拠点はどこか。	XXX	XXX
	L2 これらのセクター、バリューチェーン、直接的操業のうち、自然への依存やインパクトが中程度または高い可能性のあるものはどれか。	XXX	XXX
		XXX	XXX
診断する(Evaluate)		XXX	XXX
評価する(Assess)		XXX	XXX
準備する(Prepare)		XXX	XXX
	P3 TNFDの開示提言に沿って、何を開示するのか。	XXX	XXX
	P4 自然に関する開示はどこで、どのように提示するのか。	XXX	XXX

# 2

企業間のディスカッション

## 本日のワークショップのディスカッション内容

一人5分ほどで、宿題の課題内容を発表した後、下記の流れに従って議論をお願いします。

議題①：LEAPの質問項目で**深堀するプロセス**を班内で一つ決めてください

議題②：選択したプロセスについて、**どう分析・評価を行い対応するか**、議論して下さい

議題③：選択したプロセスについて、**今不足している情報や体制**は何ですか？

- 議論開始時に各班の**発表者と書記**を一名決定してください。
- 予め決まっている班員と、**実施してきた宿題の中身を共有**してください。
- EYメンバーがファシリテーターとして参加します。
- 発表者は、議論の内容（全員の意見）を簡単にまとめてください。
- 議論の時間は**55分**となります。

### <休憩後の班ごとの発表内容>

- 各班の代表者は、**5分ほどで議論の内容を発表**してください。
- **発表に対してご意見ご質問等**ありましたら、積極的にご発言ください。

# 2 情報開示ワークショップの内容説明

## 参考：発表の例示

企業名	LEAPの質問項目で深掘したプロセスは？	深掘するプロセスについて、どう分析・評価を行い対応するか？ (班内の議論を反映)	深掘するプロセスについて、今の貴社に不足している情報や体制は何か？
グループ A	E2である。 何故なら…だから。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前課題では、IBATを用いて直接操業地域の周辺の生物多様性の保全区域をマッピングする予定だった。</li> <li>班内での議論では、主力商品が生産過程で現地の淡水に依存しているという特徴を踏まえ、Aqueductを用いて各操業地域の水リスクを指標に評価してはどうかという意見が挙がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>E2でより詳細な、その分析／評価のためには自社の実際の取水量と、生物多様性に影響を与える可能性のある排水の行方という情報が不足している。</li> <li>この情報を得るためには、社内の生産管理部と調整し、現地から月ごとの取水・排水の量とルートを定期的に報告する体制を構築する必要があると考える。</li> </ul>
グループ B	A2である。 何故なら…だから。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前課題では、〇〇という分析を実施する予定だった。</li> <li>班内での議論では、自社セクターの××という特徴を踏まえ、△△という分析方法も有用ではないかという意見が挙がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A2の課題を解決するためには、〇〇という方法があるが、その分析／評価のためには××という情報が不足している。</li> <li>この情報を得るためには、社内の△△部と協力し、現地から取り締まり役会に××を定期的に報告する体制を構築する必要があると考える。</li> </ul>

# 3

発表・意見交換

## 各班での議論内容の発表

3つの論点を含めて、代表者の方には発表をお願い致します。

議題①：LEAPの質問項目で**深掘するプロセス**を班内で一つ決めてください

議題②：選択したプロセスについて、**どう分析・評価を行い対応するか**、議論して下さい

議題③：選択したプロセスについて、**今不足している情報や体制**は何ですか？

### <3.ディスカッション内容の発表>

- 各班の代表者は、**5分ほどで議論の内容を発表**してください。
- 各班の発表ごとに、**5分ほどで栗野様からコメントを頂いたのち、質疑応答の時間**を設けます。
- **発表に対してご意見ご質問等ありましたら、積極的にご発言**ください。





## LEAP/TNFDの解説

自然関連財務情報開示のためのワークショップ《アドバンス編》

第2回 ライフサイクル全体を通じた自然との関わりの評価・分析②

2024年1月15日

受託者：EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 EY新日本有限責任監査法人